

パブリックコメントの概要と町の考え方

No.	該当箇所	パブリックコメント 概要	田原本町の考え方
1	全般	<p>町の公共施設は、町内に点在しており、それぞれが老朽化しています。</p> <p>町の財政が厳しい中、そのまま維持を続けるのではなく、施設の廃止・統合を含めた再編の検討は必要です。</p> <p>このたび、新しい試みとして、無作為に選んだ町民の方に議論いただき、議論の内容をまとめた報告書を参考に町で総合管理計画の改訂案を作成されたことの試みは良いと思います。</p> <p>また、「田原本町住民協議会」実施概要、主な意見等をオープンにされたことも良かったと思います。</p> <p>ただし、協議会の意見を参考にして、町で総合管理計画の改訂案を作成されていますが、一般の町民の方に理解していただくために、結論を導き出すための根拠や考え方を丁寧に記載されるべきであると思います。</p>	<p>本改訂案を作成するに当たっては、庁内で田原本町公共施設等総合管理計画推進本部会議を開催し、住民協議会から提出された報告書の内容を踏まえ、審議した上で改訂案を作成しました。</p> <p>改訂案の作成に際しては、住民協議会での意見を尊重し、また単に施設を廃止し維持費を削るということではなく、施設は減らすが事業を他の施設で集約することで、行政サービスを維持または充実させるという考えのもと進めております。</p> <p>今回、住民協議会からの報告書を受け本計画内の「維持・管理方針」の項目について改訂を行うものですが、結論を導き出すまでの過程としては、施設の劣化状況、利用状況、運営状況、維持管理費用及び当該施設で実施している事業の代替可能性等を考慮しております（田原本町公共施設等総合管理計画31ページ記載）が、本町の方向性を示す計画自体には個別の施設に係るそれぞれの情報は記載すべき内容であるとは考えておりません。なお、事業の代替可能性につきましては計画に公共施設の統合等の考慮事項として記載していませんでしたの</p>

			で追記いたします。ご理解をよろしくお願いいたします。
2	35ページ 町民ホールについて	<p>役場に隣接していることや市街化区域にあり、また、大きさも町民にとって利用しやすい施設である。現在の利用内容、稼働状況等を記載のうえ、「青垣生涯学習センター」や「中央体育館」に集約が可能なのか？</p> <p>もう少し具体的にいていねいに記載する必要があります。</p>	<p>「町民ホール」の利用内容につきましては、フィットネスヨガ、ダンス、コーラス、健康麻雀等多岐にわたり利用していただいております。稼働率につきましては、約6割程度となっております。「青垣生涯学習センター」の稼働率は、音楽スタジオは5割強で、その他の部屋は約4割程度となっております。また「中央体育館」の稼働率につきましては、アリーナは約7割、トレーニング室は約5割、研修室は約2割となっております。この稼働状況と町民ホール利用者の利用目的より判断し、「青垣生涯学習センター」及び「中央体育館」を利用いただくことで集約は可能であると考えております。</p>
		<p>保健センターを移転する案は唐突すぎます。</p> <p>なぜ、保健センターを移転しなければならないのか？現在位置で問題があるのか？町民センターの駐車可能台数で保健センター利用者が賄えるのか等、町民にわかりやすい移転根拠の記載が必要です。</p> <p>保健センターを町民ホールへ移転することにより、町の経費が削減されるのでしょうか？</p> <p>住民協議会で同様の意見が出ているようですので、</p>	<p>「保健センター」は平成24年度から現在地において業務を開始しています。移転の効果として、隣接する施設との連携による検診の効果的な実施による健康づくり体制の推進、子育て支援体制の拡充、一次救急の充実と二次救急との連携等を想定してまいりました。結果として一定の効果はありましたが、医療施設等と近い距離にある必要性やメリットは想定より小さく、住民の方への相談支援等の実施においては、本庁舎と隣接することにより連続性が</p>

		意見を尊重し、移転目的や考えられるメリット、デメリット等を計画に記載して下さい。	<p>期待でき、メリットが大きいと考えられます。また、駐車場の課題につきましては、健診等を予約制にすることで対応できると考えております。</p> <p>また、施設にかかる必要経費につきましては、現在施設の賃貸借契約上（賃貸人は奈良県）、維持管理費のみならず大規模改修等に要する費用も本町の負担によることとされており、移転による「保健センター」の維持管理費（約600万円）の削減効果と合わせて現施設の老朽化による修繕費等の負担の必要はなくなることが期待できます。</p> <p>なお、移転に関する内容につきましては、今後広報紙やホームページ等において説明、周知を図っていきます。</p>
3	45ページ 老人福祉センターについて	<p>町の財政状況から、将来の廃止はやむを得ないと考えますが、廃止する理由と代替の考え方などを町民にわかりやすく記載することが必要です。</p> <p>①老人福祉センターの利用者数などの記載がありません。</p>	<p>①「老人福祉センター」の令和4年度中の利用者数は延べ22,870人です。また、直近1カ月の入浴利用人数は延べ2,033人で、実人数は387人でありました。町内の60歳以上の人口は11,940人（令和5年8月1日時点）であることから、実際の入浴利用者割合は非常に少ない（約3.2%）状況です。</p>
		<p>②人気のある入浴施設の利用について、ふれあいセンターのみで集約できますか？</p>	<p>②「老人福祉センター」の1日の平均利用者数は約80名であり、「ふれあいセンター」の令和4年度の1日の平均利用者数は約90名です。「ふれあい</p>

			<p>センター」の浴場につきましては、1日約160名の入浴が可能と試算していることから概ね運用可能と考えております。また、町が実施する事業により、町内には1カ月に4回まで、1回あたり100円の優待券で利用できる民間の銭湯もありますので入浴施設の利用につきましては集約可能であると考えております。</p>
		<p>③廃止するのであれば、近隣市町村が運営している入浴施設の利用補助も検討されるなど、何らかの代替手段の提供を望みます。</p>	<p>③代替手段の提供といたしましては、「ふれあいセンター」と町内の銭湯を考えております。町内の銭湯を利用する際にはNo. 3-②の回答のとおり、高齢者を対象に優待券を交付しております。そのため、近隣市町村が運営する入浴施設の利用補助は検討しておりません。</p>
		<p>④老人福祉センターは、老人福祉法に基づき設置することができる施設（老人福祉法第15条第1項）であり、無料又は低額な料金で、高齢者に関する各種の相談に応ずるとともに、高齢者に対して、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与することを目的とする（同法第20条の7）とされています。</p> <p>これらの機能を「ふれあいセンター」や「青垣生涯学習センター」で具体的に集約できることの記載が必要です。</p>	<p>④「老人福祉センター」は、老人福祉法第15条第5項の規定に基づいた高齢者の方の健康増進等を目的とした施設であり、これらの機能は「ふれあいセンター」や「青垣生涯学習センター」に集約するだけではなく、高齢者の方が健康増進等に取り組んでいる地域の介護予防の拠点となる「通いの場」（いきいき百歳体操、サロン等。以下同じ）にも集約できるものと考えます。高齢者の方がいつまでも健康で生きがいを持ち地域で活躍できる仕組みや、環境を創出することを目的とした介護予防事業や</p>

			<p>健幸ポイント事業等を今後も拡充していくことで、「老人福祉センター」の機能の代替として活用できるものと考えております。なお、「ふれあいセンター」においては健康相談対応や来館者の交流や居場所づくりのための各種の取組を実施しております。</p>
		<p>⑤今後の財政負担の厳しさを考慮しても、高齢者福祉の充実は必要だと考えます。</p> <p>廃止に伴い、高齢者の憩いの場をどのようにして確保するのか等、高齢者福祉の代替案を計画に記載して下さい。</p>	<p>⑤高齢者の憩いの場につきましては、「通いの場」を拡充しており、今後も介護予防事業や健幸ポイント事業を実施することにより高齢者の方々の健康寿命の延伸、医療費・介護給付費削減につなげてまいりたいと考えております。</p> <p>なお、本計画は公共施設のあり方を示す計画であり、高齢者福祉のあり方を示す計画ではありませんので、高齢者福祉の代替案に係る記載はいたしません。</p>
4	45ページ 老人福祉センターについて	<p>公共施設等総合管理の大綱を詳細に拝読することが難しくまた施設全てを利用したことが無いので個々について意見を述べさせていただく事が困難であり、下記二か所についての要望を述べさせていただきました。少しでもお聞きいただければ幸いです。</p> <p>1. 平野町所在の福祉施設について 趣味、話し合いなどの施設、浴場、パターゴルフ、バドミントン等の運動施設があり、これだけ充実し</p>	<p>「老人福祉センター」は年間約2,600万円の管理料がかかっており設備の老朽化もみられ、令和元年にはボイラーの老朽化で約120万円の修繕費がかかりました。今後も同等規模の修繕費がかかると見込んでおります。また、運動施設の代替としては、グラウンドゴルフ・ゲートボールは「しきのみちはせがわ展望公園」、バドミントンは「中央体育館」でご利用いただけます。</p> <p>これらを踏まえ、改修や設備の更新は行わず、指</p>

		<p>ている施設は他になく素晴らしい場所である。老朽化してきており、手入れが必要を生じる時もあるが最も有効な施設と思われるので是非残していただきたい。今は高齢者のみの利用となっているが、他の方々、子供達の利用もさしつかえないのではないかな。費用の問題があればいくらの利用料を考慮されてもよいのではないかな。</p>	<p>定管理期間の終期である令和7年度末を1つの施設廃止の目途とし検討しているところです。</p> <p>なお、「老人福祉センター」の利用対象は、町の老人福祉センター設置条例で60歳以上の方となっており、「ふれあいセンター」は高齢者を含む全ての方がその対象となっております。また、利用料につきましては、他の施設の利用料の見直しを含め今後検討してまいりたいと考えております。</p>
5	45ページ 老人福祉センターについて	<p>①老人福祉センターをなくすのではなく、再建して欲しい。</p> <p>②ふれあいセンターと老人センターの施設もそのままの合併には反対です。</p> <p>というのは私ども夫婦は、毎日ふれあいと老人のお風呂を楽しみに生活しています。老人センターの老朽化により建物を壊すことはやむを得ないことですが、再建されないと楽しみが一つ減ってしまいます。ここでしかお会いできてない方々もいるので大変淋しい事です。もし合併されると、老人センターからは遠くなるので、来られない方々やふれあいの風呂は今でも利用者が多い日もあるので困ります。以上の理由で老人センター廃止、ふれあいと合併になるのは反対です。</p>	<p>①No. 4の回答のとおり現在の施設を再建することは財政的に困難であることをご理解いただけますようお願いいたします。</p> <p>②入浴事業はコミュニティの場のひとつとして事業を進めてまいりましたが、他の事業でも代替可能と考えております。高齢者の方の介護予防や社会参加に資する事業は、より身近な地域で展開していく必要があると考えています。本町においては、地域全体に「通いの場」を拡充しているところがございますので、ご理解いただけますようお願いいたします。</p> <p>移動手段につきましては、今後、本町においては公共交通事業を開始予定です。</p> <p>また、タワラモトタクシーのチケットもご利用いただけたらと考えております。</p>

6	4 5 ページ 老人福祉センターについて	<p>*老人福祉センターの廃止案には反対です。今後とも町内の高齢者の人口比が増加傾向に推移すると予想される中、現在の利用者を町東部の「ふれあいセンター」「青垣生涯学習センター」にまとめるのは、現在その施設を利用されている方にとっても、利用が重なり合って不便極まりないことだと思います。</p> <p>また、町西部在住高齢者にとって、交通量が多く道路幅の狭い駅前や国道を横切るのは危険極まりなく、それだけでなく交通弱者と言われる高齢者はどのようにして、その場所に行けばいいのでしょうか。老人福祉センターの廃止決定を再考して、存続の方向で検討いただけることをお願い申し上げます。</p>	<p>No. 4 の回答のとおり現在の施設を存続し維持することは財政的に困難であることをご理解いただけますようお願いいたします。</p> <p>移動手段につきましては、今後、本町においては公共交通事業を開始予定です。</p> <p>また、タワラモトタクシーのチケットもご利用いただけたらと考えております。</p>
7	4 5 ページ 老人福祉センターについて（維持・管理方針） ※同一の意見が他に 1 件ありました。	<p>老人福祉センターは高齢化社会にとっては重要な施設であり、施設廃止を前提に検討されている改定案には根本的に賛成できません。前向き、上向きに検討していただき時代に対応できる老人福祉センター（名称の変更）の新設を要望いたします。</p>	<p>No. 4 の回答のとおりです。</p>
8	4 5 ページ 老人福祉センターについて	<p>毎日お湯に入りおしゃべりするのが私の元気の元です。</p>	<p>No. 3 - ④の回答のとおりです。</p>

9	45ページ 老人福祉センターについて	<p>私にとって、金剛寺の老人福祉センターは近くで良いところだと思って毎日というほど通わせてもらっています。交通量も少なく、耳の遠い私にも自転車で農道、やすらぎの道等々走って行ける路離だからです。お風呂みんなのおしゃべりを楽しんでいます。耳が遠い者は痴呆症のリスクも高くなると思って聞こえないなりに毎日、元気なうちは行かせてもらおうと思っています。</p>	No. 5-②の回答のとおりです。
10	45ページ 老人福祉センターについて	<p>田原本町に住まいして46年、引っ越し当時は今よりはるかに不便な田舎暮らしでした。36年間大阪へ通勤し、田原本町には親しくする人もいない状態でリタイヤしました。町公民館の囲碁クラブ、高齢者クラブそして老人福祉センターの娯楽室に通うようになり、友人知人が出来、今では楽しい老後を満喫させてもらっています。</p> <p>町民にとって、町民ホール、中央体育館、ふれあいセンターは欠かせない施設であると共に高齢者の老人福祉センターは高齢者ひきこもり、認知症予防、防止の為に絶対に必要な場所と考えます。どうか老人福祉センターを建て替えは無理としても継続して頂きたいお願い致します。元気で自分の足で老人福祉センターに行く事を目標に早朝ウォーキングに励んでいます。</p>	No. 4の回答のとおりです。高齢者の方がいつまでも健康で生きがいを持ち地域で活躍できる仕組みや環境を創出することを目的とし介護予防事業や健幸ポイント事業等を拡充していきます。これらも「老人福祉センター」の代替機能として活用できるものと考えております。

1 1	4 5 ページ 老人福祉センターについて	いつもカラオケ、お風呂に来て、楽しくさせて頂いてます。	No. 3 - ④の回答のとおりです。
1 2	4 5 ページ 老人福祉センターについて	いつもお風呂、カラオケに来て楽しくさせて頂いてます。	No. 3 - ④の回答のとおりです。
1 3	4 5 ページ 老人福祉センターについて	いつもお風呂に来て皆様に会って楽しんでます。カラオケも楽しいです。	No. 3 - ④の回答のとおりです。
1 4	4 5 ページ 老人福祉センターについて	いつもお風呂に出かけて人と話等して楽しく過ごさせてもらっています。カラオケ等でボケ防止に良いと思います。	No. 3 - ④の回答のとおりです。
1 5	4 5 ページ 老人福祉センターについて	老朽化でなくなるのを待つのではなく今を楽しみたい。	No. 3 - ④の回答のとおりです。
1 6	4 5 ページ 老人福祉センターについて	いつもお風呂に来て皆様に会って楽しくさせていただいています。いつまでも長くつづけさせて下さい。	No. 3 - ④の回答のとおりです。
1 7	4 5 ページ 老人福祉センターについて	老人福祉センターは大事な所だと思います。カラオケも楽しんでます。いつまでも続けて下さい。	No. 3 - ④の回答のとおりです。
1 8	4 5 ページ 老人福祉センターについて	老人福祉センターは楽しみに通ってます。私は無口でしゃべるのがにがてなので、人との会話も役立	No. 3 - ④の回答のとおりです。

	ついて	ってます。社会の情報も入って来ます。いつまでも継続してほしいです。	
19	45ページ 老人福祉センターについて	老人福祉センターを利用させてもらっています。週に1回のカラオケを楽しんでいます。お風呂も楽しみの1つです。毎日の「こんにちは」の一言がうれしいです。ここが無くなれば家から出ることも少なくなると思います。どうか長く続けて欲しいです。	No. 3-④の回答のとおりです。
20	45ページ 老人福祉センターについて	建物が古く耐震性が無いとかの理由があると思いますが、今を楽しみたいのです。老人福祉センターのお風呂に入ることです。	No. 3-④の回答のとおりです。
21	45ページ 老人福祉センターについて	今年の1月から老人福祉センターをよく利用させてもらっています。 老人が安心安全に気持ちよくリフレッシュできるととても素晴らしい施設だと思います。同規模で維持が困難であるなら一部規模を縮小か有料にしても是非存続してもらいたいです。 よろしく御願い致します。	No. 4の回答のとおりです。
22	45ページ 老人福祉センターについて	ふれあいセンターと老人福祉センターのお風呂を毎日利用しているものですが、ぜひ、維持していただけたらありがたい。 財政の問題があるのなら、どちらか1つでも維持していただけるようお願いします。	「ふれあいセンター」につきましては、今後も引き続き指定管理による運営を継続していく予定です。

23	45ページ ふれあいセンターについて	<p>公共施設等総合管理の大綱を詳細に拝読することが難しくまた施設全てを利用したことが無いので個々について意見を述べさせていただく事が困難であり、下記二か所についての要望を述べさせていただきました。少しでもお聞きいただければ幸いです。</p> <p>2. ふれあいの里について</p> <p>子供から高齢者の方々いろんな方々が利用している施設であり、是非残していただきたい。同場所にある建物などを活用し、もう少し多くの方々に利用できる工夫もあると思われる。又浴場が少し小さいので拡張していただけることも考えていただければと思う。</p>	<p>「ふれあいセンター」につきましては、今後も隣接している「さわやか交流センター」との連携や相互の協力を図り、利用率の向上に努めてまいります。なお、浴場の大規模改修につきましては現在考えておりません。</p>
24	その他	<p>人口減少対策として、根本的に、樫原市と合併すべきと進言します。併せて、高齢化対策のために移動手段の容易化・多様化を進めていただきたい。そうすることで、樫原市内の公共施設を共同利用することで維持管理費を下げ、利用しやすいようにできると考えます。町に施設があれば便利ですが、人口減少・超高齢化を考えると持続は困難でしょう。</p>	<p>現在、他市町村との合併は検討しておりませんが、大和まほろば定住自立圏という、田原本町、天理市、川西町、三宅町、山添村と1市3町1村の連携をしており、これにより圏域内の各団体が保有する指定されたスポーツ施設の相互利用ができるようになっております。今後、利便性の向上に向け文化系施設の共同利用等も検討してまいります。</p> <p>また、移動手段につきましては、今後、公共交通事業を開始予定ですので、その結果を踏まえ検討してまいります。</p>

25	その他	<p>公共施設等総合管理の大綱を詳細に拝読することが難しくまた施設全てを利用したことが無いので個々について意見を述べさせていただく事が困難であり、下記二か所についての要望を述べさせていただきました。少しでもお聞きいただければ幸いです。</p> <p>今回の計画について基本的に考慮いただきたいことは次のとおりで広い視野からご検討いただけたらと思います。</p> <p>①高齢者の増加が続いており、少しでも健康寿命を延ばすことにより、医療費や介護費の負担を減少することができる。高齢者の暮らしやすい街づくりにつながる。そのためには高齢者を孤独化しないで、仲間づくり助け合いづくり、老若男女相互のコミュニティづくりが必要であり、それが町の活性化にもつながる。</p>	①No. 3-⑤の回答のとおりです。
		<p>②公共施設の効率化、有効活用を見直す。たとえば体育館、図書館、公演会場などの一体化。保健センター建物などの有効活用。</p>	②公共施設の効率化、有効活用の見直しにつきましては、今回住民協議会を開催しそこでの意見を踏まえ集約や存廃を進めていくところであり、例えば利用率の高い「ふれあいセンター」と隣接する利用率の低い「さわやか交流センター」との一体活用等、今後有効活用を進めてまいります。
		③他町村との合同活用	③No. 24の前段のとおりです。

		④宗教団体、訪問看護団体、老人ホーム団体等の協業	④お示しいただいております団体等との施設の共同運営につきましては、現在考えておりません。
--	--	--------------------------	--